

## 100号をむかえました!!

## さらなる飛躍を

一般財団法人 町田市文化・国際交流財団  
理事長 鷲北秀樹



おかげさまで、「ぼろんていえ」は本号を持ちまして創刊100号を迎えることができました。

これもひとえに、広報部会のボランティア会員の皆様や、各部会のボランティア会員の皆様方のご協力とご支援の賜物と厚く感謝申し上げます。

1997年7月に町田国際交流センターの前身である町田国際協会が町田市により設立されました。

「ぼろんていえ」は、1999年7月に町田国際協会により、記念すべき第1号を創刊いたしました。

本誌は、国際交流センターの活動を広く市民の皆様やボランティア会員の皆様方に伝える広報の役割を担うものであり、国際交流センターの「顔」と考えております。

町田市では、町田国際協会が中心となり地域レベルでの国際交流を進めてまいりましたが、市民の皆様からさらに幅広く質の高い文化活動や国際交流活動の充実を願う声が強く寄せられました。

これらの要望に応えるため、文化活動の場と機会を提供する町田市民ホール<sup>※</sup>の事業運営を行ってまいりました「町田市文化振興公社」と「町田国際協会」が統合され、2004年4月に「財団法人町田市文化・国際交流財団」が設立され、一部門として町田国際交流センターが誕生した歴史があります。

また、2011年4月から公益法人制度の改正に伴い、「一般財団法人町田市文化・国際交流財団」として、

新たにスタートいたしました。

組織体制の充実を図り、各部会の活動内容に止まらず、様々な情報を編集方針に加え更に充実を図り、粛々と発行してききました中で、今回が100号という節目を迎えました。

記念すべき区切りを迎えたことに大きな意義や歴史があると考えています。

2018年には、町田国際交流センターが、設立20周年を迎えます。

また、2019年ラグビーワールドカップが、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、町田国際交流センターの役割と必要性が増すものと考えます。

町田国際交流センターの役割が増大することにより、広報紙としての「ぼろんていえ」の役割も重要となってまいります。重要な役割を担うため、更に内容を一層充実させ、皆様に喜んでいただくよう紙面作りの工夫を行ってまいります。

そのためにも、ボランティア会員を含めた皆様方のご意見やご要望は欠かすことはできません。

100号という節目で、広報部会を中心に一般財団法人町田市文化・国際交流財団の組織を上げ、気持ちを新たに「ぼろんていえ」の編集・発行に取り組んでまいります。

今まで以上に、ボランティア会員の皆様方のお力添えをいただけるよう是非ともお願い申し上げるとともに、更なる飛躍をご祈念し、創刊100号のご挨拶とさせていただきます。

ぼろんていえ

Volontiers! の由来：誘われたとき、頼まれたとき「喜んで！」と笑顔で応えるフランス語

町田国際交流センターではボランティアを中心に、日本にいる外国の方を支援したり、コミュニケーションの活性化をはかるなど、様々な活動を行っています。

国際交流事業やボランティアのお問い合わせは、町田国際交流センターまで（詳細▶5面）

# Volontiers! 100号のあゆみ



◀ **創刊号 1999年1月発刊**  
町田国際協会のスタートです。ボランティアをはじめ、関係者の方々の意欲が強く感じられる紙面です。青少年部会というのがありました。日本語教室部会は生活部会の一部でした。  
・寺田市長あいさつ ・各部会の紹介



▲ **第22号 2004年7月発行**  
「財団法人町田市文化・国際交流財団」の一部門として新たな町田国際交流センターの始まりです。ますますの発展をめざした活動が報告されています。



◀ **第92号 2016年5月発行**  
紙面の一部がカラーになりました。各部会などの楽しい活動の様子をきれいな写真で見ることができるようになりました。国際交流パーティーも楽しそうです。



# KOKUSAI インタビュー

INTERVIEW

今回は日本語教室の学習者から、アルピタ ワンゲ さん (インド) にお話を伺いました。

**Q** お国はどちらですか？

インドです。1年半前に主人と結婚して日本にきました。主人もインド人です。

**Q** ご主人との出会いは？

お見合いです。インドでは出会いのインターネットサイトがあります。プロフィールなどがわかります。そこで主人を見つけ出会いました。主人は日本に住んでいたため毎日電話やスカイプで話をしました。結婚式はインドでしました。4日間続きます。親戚や友達がたくさん集まり、おいしいものを食べたり、歌やダンスをします。とても楽しかったです。

**Q** そうですか。すごいですね。ところで日本語発表会はどうでしたか？

とても広くてきれいなホールで楽しかったです。主人に「日本語が上手になったね」といわれました。うれしかったです。

**Q** それはよかったですね。では次にインドの料理を教えてください。

毎日カレーをつくります。いろいろな野菜や豆を入れます。私はベジタリアンなので肉や魚はたべません。

**Q** インドの気候はどうですか？

私の町は日本より涼しくとてもいいです。日本は暑いです。

**Q** 日本でどこかへいきましたか？

日光や伊豆、それから小田原城に行きました。小田原城は古いものがたくさんあってよかったです。まだ京都に行っていませんが、ぜひ、行きたいです。古いお寺に興味があります。

**Q** 夏休みの計画はどうですか？

主人と一緒にインドに帰ります。8月にヒンズー教のお祭り「ガヌパティフェスティバル」がありますから。ガヌパティは神様の名前です。このお祭りは10日間続きます。

**Q** いいですね。たのしい旅になりますね。最後にお国の観光地などを教えてください。

私はインドのプネ出身です。ダグダッシュェス・ガスパティ寺院が有名です。大きなお寺です。食べ物ではクラブジャムというお菓子がおいしいです。

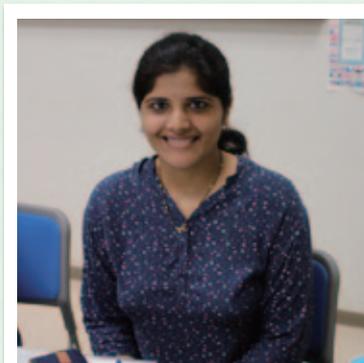
**Q** ぜひ、行ってみたいです。

ありがとうございました。  
いい旅をしてください。

ありがとうございました。



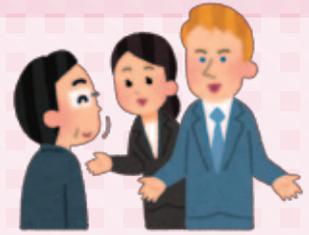
結婚式の写真



日本語教室で学習しています



# 国際交流センターの ボランティア活動



## 外国語部会

異文化理解に関心を持つ人たちの国際感覚を高めるために語学サークル活動を行っています。言語学習を通じ国際理解を深めます。英語は基礎4クラス、中国語と韓国語は2クラス、他にタイ語、フィリピン語、スペイン語の6言語で11クラスあります。また、一般的な言語学習の他に、料理、音楽、着付けなど、各国の文化、習慣等を学びます。



## 国際理解部会

グローバル化が急速に進む環境の中で、柔軟に各世代の国際理解の促進を図る目的で活動を行っています。専門分野の講師による講演会や近隣大学の留学生との交流・意見交換を通して異文化理解の促進、異文化理解、多文化共生に向けた懇談会(歴史・文化・風俗・習慣。国情等の紹介など)を開催します。



## 外国人相談部会

町田市及びその近郊に住む外国籍の人々が言葉や文化の違いで不便な思いをしないよう、また地域社会に適応できるようにと願い、外国人の方々から寄せられる様々な相談に対応しています。

通常の生活相談や年3回の専門家(弁護士、行政書士等)相談会、市役所や市民病院での同行通訳および市役所等に提出する書類の翻訳を行っています。



## 日本語教室部会

日本に暮らす外国人や外国にルーツをもつ人々と日本人と一緒に日本語によるコミュニケーションの方法を学んでいます。地域の外国人と日本人が相互理解を深め、良き隣人として共に学び、共に暮らす社会を築くために共に活動できる場をつくるために活動しています。



## 国際交流部会

国際交流パーティーやバスツアー、地元の伝統文化行事への参加等イベントの企画運営を行い、国や地域の垣根を越えた出会いと交流を育む機会と場を提供しています。近年では、近隣の大学の他国からの留学生や研修生の、ホームスティやホームビジットにも協力しています。



## 国際協力部会

町田発国際ボランティア祭「夢広場」の実行委員会に参加し、国際協力団体(NGO・NPO)と協働で運営します。また、国際協力団体(NGO・NPO)と協働での講演会やイベントを開催します。

国際協力団体の活動支援PR、交流、支援活動を行っています。



## 広報部会

ボランティア情報誌「ぼろんていえ」を発行するため、各部会の活動や国際交流センターの諸事業等取材し、本紙の編集作業を主な活動としています。「ぼろんていえ」の発行は、ボランティア活動に参加している人や広く関心を持っている市民の人々とその活動の楽しさを共有することを目指しています。



日本の角界に多くの強豪力士を輩出していることでお馴染みのモンゴルですが、まだまだ知らないことが多くあります。今回は青年海外協力隊でモンゴルに赴任していました北川友貴先生をお迎えしてモンゴルについて伺いました。北川先生はまずモンゴル語で挨拶され出席者の拍手を受けてられました。モンゴルではウランバートル第3中央病院で理学療法士として様々な手術後のリハビリテーションのサポート活動をなさっていました。日本の技術やノウハウを伝えていく役割という事でした。そんな仕事の合間にモンゴル国内を旅行なさった時のお話をたくさん聞かせていただきました。ウランバートルのような都会での生活と遊牧民のゲルでの生活などの体験談をとっても興味深くきかせていただきました。

モンゴル人にとって肉がなければ食事ではないというほど肉は大切に羊肉を毎日食べているそうです。遊牧民の住居ゲルは上が天蓋となっており、横に出入り口があります。夏は涼しく、冬は暖くなるような工夫がされています。こんな楽しいお話をたくさん写真を見せていただき、すぐにでもモンゴルへ行ってみようと思った方も多かったのではないのでしょうか。

国際理解部会 上田 徹



チンギス・ハーンとモンゴルの民族衣装



映像を見ながら興味深い話をたくさんしていただきました。

プロ紙芝居師の「さるびあ亭かーこ、さん」をお招きし、紙芝居を披露していただきました。

「黄金バット」ではじまり、交通事故を注意喚起するオリジナルのお話などを、笑いの交えながら披露していただきました。

子どもたちには途中、飴を配っていただき、楽しみながらの紙芝居鑑賞。大人にとっては懐かしい、子どもたちにとっては、めったにない貴重な体験となりました。



トレードマークの自転車で登場。紙芝居をされました。



子どもにとっては新しい「黄金バット」

## 講演会「日中関係を考える」

7月23日(日) 町田市民フォーラム3Fホール

本日は、東京大学社会科学研究所の<sup>みねたけし</sup>峰毅先生をお招きし、「日中関係を考える」と題して講演をいただきました。

先生は戦前の中国の旧満州でお生まれになり、戦後、家族ともども四国の愛媛に引き上げて来られたそうです。従って中国は先生の生まれ故郷であります。長じて東京大学経済学部にお入りになり、卒業後は日本を代表するような化学会社にお入りになって、調査・企画畑、国際畑等で活躍されていました。

そのあと、社命でアメリカのジョンズ・ホプキンス大学に留学され、経済学博士号を取得されました。その後も社業に邁進されたあと、中国の北京に駐在されました。従って中国は先生が実際に親しく仕事をされた地でもあるそうです。その後は、酒席の多い中国でのつきあいやせったいで少し身体を壊されて日本に帰国、暫く静養のあと東京大学(大学院)に再び入られて、再度、経済学博士号を取得されました。



講演される峯先生

このように、本日のような演題でお話しをお聞きするには、まさにうってつけの方であり、聴衆の市民もこれは真剣に聞かないといかんと、耳をさらに傾けている様子でありました。

先生は、講演では中国の最近のGDPは、既に日本の倍以上になっているという経済的事実を示されたあと、一般の日本人の対中国好感度がかなり下がっているという、社会学的なデータを示されました。聴衆も、学問的事実やデータに基づいた先生のお話しに、目からウロコが落ちる思いであったのではないだろうか。先生はご自分の意見は特に具体的には話されなかったが、中国とご縁の深い先生のお気持ちは、殆どの聴衆が理解したのではないだろうか。

追記：国際交流センター・国際理解部会の部会員であった故佐藤さんは、先生の大学の先輩であり会社の上司でもあった。本日の講演会は、その佐藤さんがもともと企画されたものだったが、佐藤さんは病を得てお亡くなりになり、他の部会員が引き継いで実現したものです。ようやく実現して、部会員一同もホッとしているところです。

国際理解部会 丸山 恭司

## 2017年度 日本語発表会

7月9日(日)

「第16回 外国人学習者による日本語発表会」を、和光大学ポプリホール鶴川で町田国際交流センター主催、MIFA、町田日本語の会、協力で開催いたしました。

アメリカ、カナダ、ベトナム、モロッコ、インド、中国、フィリピンなど多彩な出身国の方が様々なテーマで発表し、その一生懸命な姿と興味深い内容に会場の皆様が感心して聞き入っておられました。

満員電車の大変さを体験した方、中国ではITが広まり財布が不要になりつつあるとお話をされた方、日本での発見や驚きをお話下さった方々、和気あいあいの会となりました。

最後に日本代表として、町田南粋連の方々が阿波踊りを披露してくださり、交流会では皆で踊りの輪を作って楽しみました。地域の日本人と外国の方とが、直に触れ合うことが出来て、国際交流の輪がより広まったのではないのでしょうか。

日本語教室部会  
北脇 智子



今年も多くの国の方が発表しました。

# 講演会「どこが世界の三大料理？」～トルコの食文化とその成り立ち～

7月28日(金) 町田市民フォーラム3Fホール

昨年に続き、トルコのボアジジ大学アジア学研究所からエルダグ・キュチュクヤルチュン先生をお迎えして話を聞きました。昨年は日本とトルコの関係史についての話でしたが、今回は「どこが世界三大料理？」～トルコの食文化とその成り立ち～と題しての話です。トルコ料理というとケバブしか浮かばなかったのですが、非常に種類が多くその「バラエティー」が特徴だそうです。それら本当にたくさんの料理をきれいな写真とともに紹介いただきました。この多様性がどこから来ているかという、5つの要素があるそうです。トルコの地理的特徴、アジアとヨーロッパのかけはしであること、文化的に他民族・多文化が会いその遺産が多くあること、歴史的に様々な文化が入ってきたこと、穏やかな気候・四季がある事での野菜と果物が豊富なこと、トプカピ宮殿の中にインペリアルキッチンがあったことだそうです。このインペリアルキッチンは味の研究所のようで、料理人が腕を競っているいろいろな新しい料理を考案したそうです。また、すべての食文化の始まりはトルコからということ。クロワッサンやシャーベットもトルコからだそうです。これらが「バラエティー」豊かなトルコ料理を育み、世界三大料理となっているのです。トルコ人も知らないトルコ料理を大きな料理と表現し、残していかなければならないと話してくれました。ケバブだけではなく、本当にたくさんのきれいなトルコ料理の写真をみながらエルダグ先生の流暢な日本語と巧みな話術で楽しく聞くことができました。最後にトルコの代表的卵料理メネメンのレシピが紹介されました。

国際理解部会 荒明 美奈子



- 簡単レシピ
- 卵(2個)
  - 玉ねぎ(2個)
  - トマト(4個)
  - シシトウ(2個)
  - トウガラシ(1個)
  - チーズ
  - パプリカ
  - 塩
  - コショウ



▲メネメン



◀ボレキ



町田市国際ボランティアの一員として活動して間もなく、定例会で毎年ノースイースタン大学の学生さんを受け入れていることを知りました。

その日の定例会でホームステイの受け入れ家族がまだ足りていないと知り、即、私を受け入れようと思いました。

実はその前の年に息子たちの野球チームでブラジルの子供を二人受け入れたことがあったこと、自分自身12歳のころからイギリスでホームステイを何度か経験したこともあり、ホームステイの受け入れには全く抵抗はありませんでした。

ホームステイを受け入れる一番の理由は子供たちに少しでも異文化を体験してもらいたい、という思いからです。

男の子がいる家族ということもあり、男の子の留学生がウチに来てくれました。

アントンさんはとてもまじめな好青年で、熱心に日本語を勉強していました。

日本語も上級ということもあり、日本語での会話でも問題ありませんでした。

息子たちとは花火をしたり、ハイキングに行ったり、また音楽の趣味が似ていたり等、短い間でしたが、思い出に残る交流ができたと思います。

子供たちのためにと始めたホームステイ受け入れですが、一番楽しんでいるのは私かもしれません。

国際交流部会 増田 真理



ハイキングに行きました



お祭りで太鼓に挑戦



貴重な時間を過ごすことができました



たくさんの留学生とボランティアが参加しました

町田国際交流センターでは、毎年数回、海外からの留学生に対し、ホームステイ、ホームビジットの受け入れを行い、日本の家庭を体験してもらっています。

# 広報部会 活動紹介

『ぼろんていえ』も100号を迎え、広報部会は現在7名の「多芸多才」、加えて「多趣味」の多彩なメンバーで活動しています。個性豊かなメンバーですが、『町田国際交流センター』の存在と、それを支えるボランティアの皆さんの活動を、地域の方に広く知ってもらおうという思いはひとつです。

主な活動は、毎月の定例会の他、各部会のイベントに駆けつけ、センターの記録として写真や動画撮影、編集作業を行います。その過程でボランティアの皆さんの準備段階のご苦労や、人と人のつながりに思いを馳せることができるのは、広報部会員ならではの役得でしょう。

また、町田発国際ボランティア祭『夢広場』、市民協働フェスティバル『まちカフェ』に参加し、民族衣装体験や子どもたち対象のカード作りなどの体験イベントを行ったり、市役所やポプリホール鶴川でセンター紹介の展示イベントを開催するなど、来場者に町田での国際交流を身近に感じてもらえる機会も提供しています。

何より、地域の外国人にセンターの存在と活動を知ってもらわなければ、手助けすることも共に活動することもできません。その目的に向かって、広報部会は楽しく進化しながらさまざまな形で発信し続けていきます。



町田市主催のイベント「まちカフェ」に参加



定例会の様子

岡村 眞理

## あの日あの時

町田国際交流センターが現在の市民フォーラムに移転したのは2000年1月、今から17年前になります。当時のぼろんていえには、カラーで部屋の見取り図、写真が掲載されています。

その年の4月には日本語教室が立ち上げられ、現在に近い形で運営されるようになりました。また、外国語サークルのスペイン語もこの時期に開講されました。


**ぼろんていえ**  
**Volontiers!**  
<http://village.infoweb.ne.jp/~mifact/>

### まちだこくさいようかいにほんごきょうしつかいせつ 町田国際協会日本語教室開設

日本語の習得を希望としている外国人などの学習を支援するため、本年4月から日本語教室を開設しました。  
現在支援者は28名、学習者は105名です。  
教室は週3回開催され、毎回熱心な学習が展開されています。



## 広報部会長あいさつ

国際交流センター機関紙「ぼろんてえ」が創刊100号を迎えました。ひとえにボランティア会員の皆様、事務局の皆様のご協力、諸先輩方のご努力のおかげと存じます。1999年1月の創刊号ではセンターの前身である、町田国際協会の前途洋洋とした発足の様子をうかがい知ることができます。また、2004年の22号では「財団法人 町田文化・国際交流財団」の一部門として国際交流センターの発足が伝えられています。100号の節目にあたって、今一度「ぼろんてえ」の役割を見つめ直し、ボランティアの様々な活動報告を中心として、町田国際交流センターを広く市民の皆様にも知っていただくための「広報」としての使命の果たしていくよう、より一層の努力をしていきたいと存じます。先人の方々が積み重ねてきました、これまでのよき伝統を踏襲しつつも、これからの新しい時代にあったセンターの「顔」としての紙面作りに広報部一同頑張っている所存です。

今後とも皆様のより一層のご協力とご支援をいただけますようお願い申し上げます。

広報部会長 荒明美奈子

## ぼろんてえ 100号発行にあたり

ぼろんてえ100号の刊行おめでとうございます。

毎号、短い期間で原稿を寄稿されている各部会の皆さん、散々たる原稿を前にひたすら校正を繰り返すセンターの皆さん、そして広報部会の皆さんおめでとうとお疲れ様です。

お久しぶりです。三代目の編集担当jzmsです。今はすっかり交流センターから遠いところにおりまして、いまさらという感がありますがお祝いを贈らせて頂きます。

いまは東京五輪オリンピック・パラリンピックへの準備で忙しいときだと思えます。先日も通訳やガイドを担うボランティアが不足しているとニュースで取り上げられていました。(町田はその辺充実しているのかな?)

自分が交流センターで活動していた頃は、各部会にそれぞれ漂う空気感があったりするものの、学生を中心とする若い人の集まりや、現役サラリーマンと勤めが終わり次の生きがいを見つけた人々の集まりと、良くも色んな人が集まったと感じていました。まして外国籍の方々との交流では、文化も価値観も違う訳で、そういった人達と同じ目標を持つきっかけを得たことは大きな刺激でありました。きっとその辺は今も変わらないのではないのでしょうか?

そういった多様な想いを綴ったのがぼろんてえです。それはセンターの歴史そのものです。その一端に関われたことに感謝致します。改めておめでとうございます。

元編集担当 jzms

生涯学習センター まちだ市民大学HATS  
「くらしに生きる法律」公開講座

**「高齢者の財産管理・生活  
～成年後見制度を中心に～」**

普段は意識しなくても、私たちの生活に様々な場面に広くかかわっているのが法律です。その中でも「成年後見制度」は判断力が不十分な方の財産・生活を支援し、権利を守る制度です。しかし後見人でも医療同意ができなかったり、後見人に財産を使われる事件が起こるなど課題があります。だれもが高齢に向かう中、関心の高い成年後見制度の現状をわかりやすく学びます。

講師からのメッセージ『本講座では、高齢社会に生起する法律問題を解決するための基礎知識について話します。』

特に、現在最も注目されている成年後見制度を中心に、高齢社会では法律の役割がいかに重要であるかを理解して頂く講座です。』

【講師】新井 誠氏 (中央大学法学部教授、日本成年後見法学会理事長)

【日時】10月5日(木) 19:00～21:00 (18:30開場)

【会場】市民フォーラム 3階 ホール (町田市原町田4-9-8)

【対象】どなたでも

【定員】138名 (申込順)

【費用】無料

【申込】電話で町田市イベントダイヤル (042-724-5656) へ。

または町田市ホームページのイベント申込システム「イベシス」での申込 (イベントコード170907A)。



新井 誠氏

問い合わせ

町田市生涯学習センター

〒194-0013 町田市原町田 6-8-1 TEL 042-728-0071 FAX 042-728-0073  
休館日 毎月第4月曜日(祝日の場合は翌日) および年末年始 (12月29日～1月3日)



ホームページをご覧ください!!

アドレス <http://www.machida-kokusai.jp>

**新しい情報がいっぱい!!**

町田国際交流センターのホームページでは、センターが開催する講演会や外国人向けの相談会のお知らせのほか最新の情報を提供しています。

また外国語版のページでは、「日本語教室」など、外国人の方々が地域で暮らすのに必要な情報を英語で提供しています。

今後も楽しいコンテンツづくりを目指していきます。是非、ご活用下さい。

財町田市文化・国際交流財団  
町田国際交流センター

〒194-0013 東京都町田市原町田4-9-8 町田市民フォーラム4F  
TEL 042(722)4260 FAX 042(722)5330

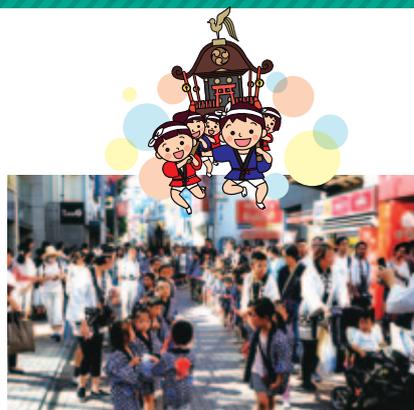
<http://www.machida-kokusai.jp>  
E-mail: [info@machida-kokusai.jp](mailto:info@machida-kokusai.jp)

# 事務局からのご案内・募集

## 秋祭りに参加しませんか 山車巡行!

町田天満宮秋季例大祭に原町田六生会の子ども山車で巡行に参加します。

- 日 時：9月24日(日) 13:00～15:00
- 対 象：外国人の親子(小学生以下の子どもと保護者)
- 定 員：30組 ■参加費：無料 ■集合場所：町田国際交流センター
- 集合時間：12:00～ ※受付時にハッピーとタスキを渡します。
- 申 込：住所、氏名、お子様の名前と年令・身長をお書きの上、電話、FAX、ハガキでお申込下さい。9月20日(水)まで。
- お問合せ：(一財)町田市文化・国際交流財団 町田国際交流センター  
TEL：042-722-4260 FAX：042-722-5330



## 第20回 町田発国際ボランティア祭 2017 夢広場

夢広場は、国際交流・国際協力で活躍する学生サークルや市民グループ、NGOなどが参加し、異国料理の模擬店や民族芸能を紹介するステージ発表を通して市民との交流と世界平和への願いを広げる場として開催しています。是非、おこし下さい。

- 開催日：11月3日(金・祝)
- 会場：ぽっぽ町田
- 主催：2017夢広場実行委員会
- お問合せ：(一財)町田市文化・国際交流財団 町田国際交流センター  
TEL 042-722-4260



## 第15回 留学生トークプラザ 留学生の思いを聞いてみませんか ～留学生による意見発表会～



町田市内及び近隣の大学で勉強している留学生に、日本の印象、日々の勉強、将来の夢、日常生活を通して体験したことなどを日本語で発表して頂きます。発表終了後、留学生との意見交換の時間を用意しています。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

- 日 時：11月12日(日) 午後2時～5時(開場 午後1時30分)
- 会場：町田市立中央図書館 6階ホール(住所：町田市原町田3-2-9)
- 参加費：無料
- 申 込：①住所 ②氏名 ③電話番号 ④参加人数をご記入下さい。  
◆はがき：〒194-0013 町田市原町田4-9-8 町田市民フォーラム4階 町田国際交流センター宛  
◆FAX：042-722-5330  
◆ホームページ：www.machida-kokusai.jp  
受付確認のお知らせはお送り致しません。直接会場へおいで下さい。
- 主催：(一財)町田市文化・国際交流財団 町田国際交流センター(担当：国際理解部会) 電話 042-722-4260
- 後 援：町田市

## 第20回記念企画 外国人住民のためのバスツアー ～箱根の紅葉とみかん狩りを楽しもう～

日本の代表的な観光名所である箱根を訪ねます。海賊船に乗って芦ノ湖を渡り、湖畔の展望台からは雪化粧した富士山や紅葉の山々を見ることができます。

また、温泉地として有名な湯河原で、みかん狩りを楽しみましょう。

さあ、お誘い合わせてぜひご参加ください。ご家族そろってのご参加も大歓迎です。



- 日 時：11月19日(日) 7時30分集合 17時30分解散予定(雨が降っても行きます。)
- 集合場所：109ビルの前 ■対 象：外国籍の方とその家族 ■募集人数：80名(先着順)
- 参加費：大人・中学生以上3,000円/一人、3歳～小学生1,500円/一人、2歳以下 無料  
※海賊船乗船料、みかん狩り料金、保険料を含みます。昼食代は含みません。
- 申 込：参加費を添えて、事務局にお申込み下さい。(満席になり次第、締切ります。)
- 主 催：(一財)町田市文化・国際交流財団町田国際交流センター 国際交流部会



〒194-0041 町田市原町田4-9-8 町田市民フォーラム4階 TEL:042-722-4260 FAX:042-722-5330